

あし

令和3年12月

第36号



CONTENTS

〔巻頭言〕 祝辞	大阪市長・松井 一郎	2	
〔寄稿〕 大阪府内の行政相談について（意見交換のお願い）	近畿管区行政評価局長・森丘 宏	3	
〔令和3年度行政相談委員の栄典の紹介〕	近畿管区行政評価局行政相談課	4	
〔寄稿〕 ふるさと甲賀市を住みよいまちにするために～私と行政相談～	滋賀地相協・鶴飼 尚美（甲賀市）	6	
〔委員活動報告から〕 行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例	白國 哲司（大阪市西区）、西野 房男（堺市北区）	7	
	大草 亘（大阪市鶴見区）、西野 房男（堺市北区）、葛本 徹雄（千早赤阪村）、藤田 毅（松原市）	8	
〔自己紹介〕 新任委員さんこんにちは!!（令和3年4月1日からの委嘱委員）		9	
大阪第1支部：香川婦美子（大阪市西淀川区）			
大阪第2支部：田中 和美（大阪市住吉区）、寺本 幸次（大阪市東住吉区）			
北摂支部：平安 孝至（池田市）、入江 和廣・里見さつき（箕面市）			
河内第1支部：大西 秀信（大東市）、木原早智子（門真市）、大越 健司（枚方市）			
河内第2支部：河合 雅世（東大阪市）、藤井 一（八尾市）、花岡 茂樹（富田林市）、小路 庸吉（太子町）			
泉州支部：辻野 耕司（堺市堺区）、星 忠宏・以倉 育美（堺市東区）、捻金栄美子（堺市北区）、三井 保夫・佐嶋 博（泉大津市）、高橋 香（高石市）、前川 優（泉南市）、橋本 正義（忠岡町）			
〔行政相談活動〕 withコロナでの行政相談活動	近畿管区行政評価局行政相談課	12	
〔各委員会からの活動報告〕			
研修委員会の活動について	研修委員長・祢垣 悟	14	
編集委員会の活動について	編集委員長・今井 藤子	14	
相談業務委員会の活動について	相談業務委員長・足立 義昭	15	
広報委員会の活動について	広報委員長・羽田 清彦	15	
ホームページ運営委員会の活動について	ホームページ運営委員長・奥小路 了	16	
男女共同参画委員会の活動について	男女共同参画委員長・佐古田曉實	16	
〔自主研修会〕			
大阪第2支部	瀧川 愛子（大阪市平野区）	17	
	三輪 淳三（大阪市中央区）	18	
	宮川 茂雄（大阪市住吉区）	18	
	高木 正彬（池田市）	19	
	村岡由美子（枚方市）	19	
	津村 英子（松原市）	20	
	高岡 一平（堺市美原区）	20	
	寺本佳世子（大阪市東淀川区）	21	
	市川 利通（大阪市東住吉区）	21	
	岩井 利春（島本町）	22	
	角 咲子（門真市）	22	
	前田 正道（東大阪市）	23	
	南 淳子（岸和田市）	23	
〔ショート・ショート〕	勝 泰子（大阪市淀川区）、箱谷香代美（大阪市平野区）、原 さつき（吹田市）		
〔ステイホームで読んだ本〕	川西 勝久（四條畷市）、高萩 佳由（柏原市）、辻野 収（和泉市）	24	
〔私の住む町〕 〈MY TOWN 熊取町〉	坂上 欽也（熊取町）	25	
	〈MY TOWN 大阪市港区〉	石川 忠秀（大阪市港区）	26
〔大阪あれこれ〕（第六回） 少彦名（すくなひこな）神社と疫病	編集委員・楠 好子	27	
編集後記		28	
▶〔題字〕			
總本山四天王寺			
出口常順 元管長 揮毫			
▶〔表紙写真〕通天閣			
大阪府からの要請により、2020年5月11日から、大阪のシンボルである通天閣のライトアップにより、新型コロナウイルスの大阪独自の警戒基準レベルを大阪府民に周知することになりました。大阪モデルでは、警戒基準を、赤色（警戒レベル）、黄色（注意喚起レベル）、緑色（基準内）の3色に分けています。写真は、緊急事態宣言下、警戒レベルの赤色でライトアップされた通天閣です。現在は10月25日から約1年3か月ぶりに最も安全な「緑信号」に切り替えられています。			
写真：通天閣観光株式会社ご提供			
文：松浦 隆行（大阪市城東区）			

巻頭言



祝 辞

大阪市長 松井 一 郎

行政相談委員制度が60周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げますとともに、平素から大阪市政の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

行政相談委員の皆様方には豊かな識見とご経験により、市民に最も身近な相談窓口として、日々寄せられる様々な相談や要望に的確にご助言いただき、地域住民の厚い信頼を集めておられ、また、昨年1月からの新型コロナウイルス感染症に係る様々なお問い合わせの対応にご尽力いただいておりますことを感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

昨今、地域においては、少人数世帯・高齢者単身世帯の増加や、共同住宅の増加といった地域コミュニティを取り巻く変化、また、個人の生活様式や、価値観の多様化等、人と人とのつながりの希薄化がみられ、これまで地域で担ってきた自助・共助の機能が低下する一方で、地域課題はより一層複雑化・多様化している状況にあります。

こうした中、市民と行政をつなぐ行政相談委員の皆様にご担っていただく役割の重要性は、制度創立60年を迎えた現在においても一段と高まっていると存じます。

激しく変化する社会状況の中、大阪市では、地域において多様な活動主体が「自らの地域のことは自らの地域が決める」という意識のもと、

相互に信頼し合いながら共同して豊かなコミュニティが形成されることや、さらにこれらの活動主体と行政が協働して「公共」を担う、活力ある地域社会の実現をめざしております。

そのため、地域に身近なところで自立的な基礎自治行政を行うため、区長に対し権限と財源の大幅な移譲を行い、区の特性を生かしたまちづくりを進めております。

また、副首都に相応しい都市機能の充実に向け、府及び市の広域行政並びに類似する施設、施策、事務事業などについて、府市連携・一元化の取り組みを推進するとともに、大阪・関西の経済発展に大きな効果が得られ、大阪の魅力を全世界に発信できる絶好の機会である「2025年日本国際博覧会」の成功に向けて、開催準備を進めているところであります。

今後とも皆様と力を合わせて大阪の発展に力を尽くしてまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

大阪行政相談委員協議会のますますのご発展と、行政相談委員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、ごあいさついたします。



大阪府内の行政相談について (意見交換のお願い)

総務省近畿管区行政評価局長 森 丘 宏

大阪府内の行政相談委員の皆様には、平素より行政相談及び広報にご尽力いただき心から感謝申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響で、十全な委員活動が困難な時期が続いております。昨年1月の時点ではここまで大きな影響が生じると予見していた方はほとんどいらっしゃらなかったのではないかと思います。チャーター機、クルーズ船、屋形船などの出来事があり、4月には緊急事態宣言が発出され、行政相談の諸活動も大きな制約を受けることになり現在に至っているのは皆様ご案内の通りです。

このような状況が続く中、私が本年7月に着任して以来近畿管区の各府県の委員の皆様のご意見を伺う機会を何度か設けていただきましたが、ICTと知名度に関するご意見が多く、今後これらを中心に各般の取組みを進めていきたいと考えております。

まず、ICTを活用した新たな方法による行事の開催・広報につきましては、コロナ禍における会議・研修等の行事において、オンライン参加希望者には、Zoom、Skype等の通信ソフトを活用し、オンライン受講の環境を整備して対応し、さらに以下の取組みを実施しているところです。

- ・ 大阪一日合同行政相談所、東大阪行政相談パネル展において、オンライン相談体験コーナーを設置。
- ・ 地相協各支部におかれましては、ICTに関する基礎的な内容の講習（講演及びZoom体験の実施）を近畿総合通信局のご協力をいただき12月以降に実施予定。

大阪府内の行政相談委員191人中、メールアドレスを取得している委員は136人、取得率は71.2%と全国平均（54.5%）を大きく上回っています。他方メールアドレスをお持ちでない委員は、相対的に委嘱期間が長く、積極的に活動にご尽力いただいている委員も多いことから、それらの委員にも行政相談業務におけるICTの推進に関する方針・取組み等について、ご理解いただくとともに、参加していただくことが大切であるため、以下の取組みを実施します。

- ・ 定例相談所支援時にタブレット端末により委員と幹部職員とのビデオ通話を実施。
- ・ 様々な会議、研修において月例報告のメール提出やメールマガジン（相談丸通信、キクーンめ〜）配信を案内。知名度の向上につきましても、積極的にICTを活用した新たな広報を実施していきます。
- ・ 市区町村ごとの行政相談委員の定例相談所、氏名等を掲載したオリジナル動画を作

成し、公共施設での放映を依頼。

- ・ 当局ホームページのリンク先に、YouTube掲載の「総務省動画チャンネル 行政相談」を追加。
- ・ 当局Twitterにおいて、行政相談委員制度60周年動画、行政相談週間行事の動画を配信。また、分かりやすいタイトル、ホームページへの誘導、画像の添付などを行い、フォロワーの増加を図る。
- ・ 自治体を始めとした公的機関の職員への広報効果が期待されるiJAMP（時事通信社が提供する行政情報データベース）への広報記事の積極的掲載。

併せて、行政相談委員の皆様の中には、保護司、民生委員等他の法律委員の兼務者、弁護士や税理士等の資格者、NPOなど多彩な団体の役員等もいらっしゃいます。協力いただけますと、各方面における様々な行政課題に関する情報や意見を得られると期待しておりまして、各種懇談会の開催をお願いすることも考えております。

さらに、令和3年4月以降の新規委嘱委員23人の方々につきましては、委嘱後にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言期間が続き、9月まで活動自粛を依頼せざるを得なかったため、①委嘱伝達式・委嘱時研修後の最初の定例相談所開設日における地区担当職員による相談所訪問（同じ市区町村の先輩委員への紹介とともに、相談広報の仕方、相談者対応、月例報告の記載方法等について説明等を実施）が進んでいない、②全体会議、ブロック会議での他の委員への紹介ができていない、③地相協各支部の総会や自主研修会における自己紹介や先輩委員と懇談ができていない等の状況となっています。

新規委嘱委員に対して、委員として慣れていただき必要な知識、技能を持っていただくとともに、先輩委員に倣って活動いただくため、以下の取組みを実施しております。

- ・ 10月以降の最初の定例相談所開設日に地区担当職員が訪問。
- ・ 当該訪問時にタブレット端末により幹部職員とのビデオ通話を実施。
- ・ 12月に先輩委員との懇談を主な内容とする委嘱時研修（2回目）を実施。

以上の他にも現下の状況において可能なことはいろいろあるかと思えます。行政相談委員の皆様のご意見をうかがいながら進めていくために、管区の幹部職員が大阪府内の各市町村に伺うなど、様々な形で意見交換をさせていただくことを考えております。

よろしく申し上げます。

行政相談委員の栄典の紹介

(地区・市町村順、敬称略)

春の叙勲（令和3年4月29日）（2名）

瑞宝双光章（行政相談功労）南^{みなみ} 淳子^{じゆんこ}（岸和田市）

令和3年6月25日 近畿管区行政評価局において叙勲伝達式が行われました。

（写真左から白國哲司地相協会会長、南淳子委員、山内達矢管区局長）



瑞宝単光章（消防功労）山本^{やまもと} 道隆^{みちたか}（四條畷市）

秋の叙勲（令和3年11月3日）（1名）

瑞宝双光章（行政相談功労）富田^{とみた} 準^{じゆん}（大阪市城東区）

令和3年12月7日 城東区役所において、城東区長様御臨席のもと叙勲伝達式が行われました。

令和3年度総務大臣表彰（令和3年11月19日）（6名）

南 ^{みなみ} 秀樹 ^{ひでき} （大阪市都島区）	河野 ^{こうの} 順子 ^{じゆんこ} （守口市）
乾 ^{いぬい} 敦子 ^{あつこ} （大阪市東住吉区）	川西 ^{かわにし} 勝久 ^{かつひさ} （四條畷市）
神林 ^{かんばんし} 久子 ^{ひさこ} （高槻市）	大西 ^{おおにし} 健造 ^{けんぞう} （八尾市）

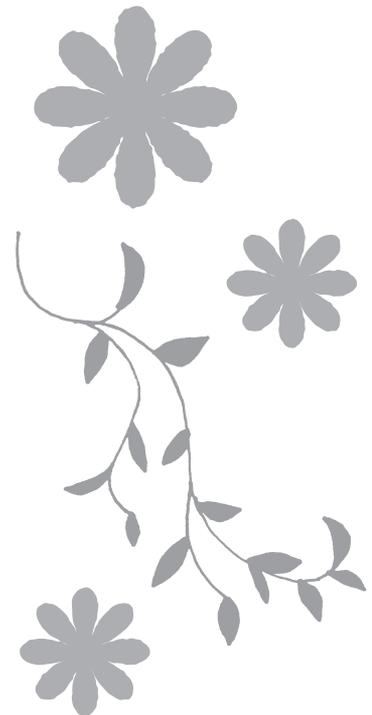
令和4年1月14日 プリムローズ大阪において、総務大臣表彰式が行われる予定です。

令和3年度近畿管区行政評価局長表彰（令和3年5月21日）（7名）

市山 ^{いちやま} 博重 ^{ひろしげ} （大阪市西淀川区）	砂田 ^{すなだ} 八壽子 ^{やすこ} （柏原市）
西村 ^{にしむら} 譲治 ^{じょうじ} （大阪市生野区）	富田 ^{とみた} 久子 ^{ひさこ} （堺市西区）
春元 ^{はるもと} 靖弘 ^{やすひろ} （大阪市阿倍野区）	廣兼 ^{ひろかね} ケイ子 ^こ （堺市南区）
高田 ^{たかだ} 宏司 ^{こうじ} （大阪市住之江区）	

令和3年度近畿管区行政評価局長感謝状（令和3年5月21日）（18名）

白井 ^{うすい} 美耶子 ^{みやこ} （大阪市都島区）	笠原 ^{かさハラ} 政芳 ^{まさよし} （大東市）
平野 ^{ひらの} 雄三 ^{ゆうぞう} （大阪市此花区）	川崎 ^{かわさき} 睦子 ^{むつこ} （東大阪市）
三輪 ^{みわ} 淳三 ^{じゆんぞう} （大阪市中央区）	玉宅 ^{たまや} 英子 ^{えいこ} （富田林市）
樋口 ^{ひぐち} 浩一 ^{こういち} （大阪市東淀川区）	坪本 ^{つぼもと} 直子 ^{なおこ} （河内長野市）
坂本 ^{さかもと} 安敏 ^{やすとし} （大阪市浪速区）	奥野 ^{おくの} 佳秀 ^{よしひで} （羽曳野市）
宮川 ^{みやがわ} 成雄 ^{せいゆう} （大阪市住吉区）	小林 ^{こばやし} 周二 ^{じゅうじ} （羽曳野市）
瀧川 ^{たきがわ} 愛子 ^{あいこ} （大阪市平野区）	西山 ^{にしやま} 祐子 ^{ゆうこ} （大阪狭山市）
原 ^{はら} さつき（吹田市）	塩尻 ^{しおじり} 春夫 ^{はるお} （堺市西区）
加島 ^{かしま} 早織 ^{さおり} （茨木市）	西野 ^{にし} 房男 ^{ふさお} （堺市北区）



🌸全国行政相談委員連合協議会長表彰（令和3年5月21日）（3名）

いしかわ ただひで かわど さきこ
石川 忠秀（大阪市港区） 角 咲子（門真市）
いのうえ れいこ
井上 礼子（大阪市阿倍野区）

🌸近畿行政相談委員連合協議会会長表彰（令和3年5月21日）（6名）

やました やすいち かわはら じゅんこ
山下 保一（大阪市住吉区） 河原 純子（河内長野市）
かけがわ ふみこ いけだ ひさお
掛川 文子（高槻市） 池田 久雄（大阪狭山市）
わだ けいし かなた
和田 圭史（門真市） 金田あけみ（田尻町）

🌸全国行政相談委員連合協議会長特別表彰（令和3年3月31日）（8名）

ふじもと まさと たごと てるとか
藤本 正人（大阪市西成区） 田毎 照隆（河南町）
ひらやす いっさく よしだ りょうへい
平安 弼作（池田市） 吉田 良平（堺市東区）
あけち ひでこ しばた あつこ
明智 英彦（枚方市） 柴田 惇子（堺市北区）
しらき じゅんいちろう よしだ さちよ
白木 順一郎（八尾市） 吉田 幸代（高石市）

令和3年3月末に退任された方々に対して、その功績を讃えるため、全相協議会長から特別表彰が贈呈されました。

🌸令和3年度大阪行政相談委員協議会会長表彰（令和3年8月）（12名）

たにくち やすひろ なかたに ひさお
谷口 裕洋（大阪市東成区） 中谷 久夫（摂津市）
こめだ みちたか のむら こうぞう
米田 道孝（大阪市城東区） 野村 耕造（大東市）
みずぐち ひろし ひらい まさたけ
水口 博司（大阪市浪速区） 平井 正文（交野市）
いちかわ としのぶ なかまはた たみえ
市川 利通（大阪市東住吉区） 中浜多美江（八尾市）
まえかわ じゅんこ はたなか かずみ
前川 順子（豊中市） 畑中 一巳（堺市中区）
もりむら たもつ つじの おさむ
森村 保（能勢町） 辻野 収（和泉市）

近畿管区行政評価局行政相談課から

例年、行政相談委員全体会議、ブロック会議、地相協総会等で受賞された委員の御披露をさせていただくところ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記の会議が中止となりました。

今まで御披露の機会がなかった栄典受賞者の御紹介をさせていただきました。

また、大阪行政相談委員協議会新体制は右記のとおり発足しました。どうぞよろしくお願ひします。

令和3年度新役員体制

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	白國 哲司	副会長	春元 靖弘
副会長	諏訪 孝子	副会長	河野 順子
副会長	葛本 徹雄	副会長	河野 彪
副会長 総務局長	山本 文雄	理事 会計理事	川西 勝久
理事	富田 準	理事	大草 亘
理事	櫻町 君枝	理事	若山 洋
理事	石川 勝啓	理事	尾崎 勉
理事	上田 文章	理事	交久瀬和広
理事	加茂 守一	理事	高萩 佳由
理事	矢倉 芳彦	理事	山村 武子
理事	松本 啓子	理事	宮里 眞澄
研修委員長	祢冨 悟	編集委員長	今井 藤子
相談業務委員長	足立 義昭	広報委員長	羽田 清彦
男女共同参画 委員長	佐古田暁實	ホームページ 運営委員長	奥小路 了
監事	那須 厚郎	監事	河原 純子



ふるさと甲賀市を住みよいまちにするために～ 私と行政相談～

滋賀地相協 鵜飼尚美 (甲賀市)

わが町、甲賀市信楽町に足を踏み込むと『連続テレビ小説「スカーレット」の舞台地甲賀市信楽へようこそ』の看板が目にとまります。

甲賀市は、2004年10月水口、土山、甲賀、甲南、信楽の5町の合併により誕生しました。滋賀県東南部に位置し、大阪・名古屋から100km圏内にあり、近畿圏と中部圏をつなぐ広域交通拠点に位置しています。標高1000mを超える山々が連なる鈴鹿山脈により、西南部は信楽盆地とこれらに続く丘陵性山地により各々三重県、京都府に接しています。

信楽焼、ドラマや映画のロケ地、宿場町、甲賀忍者、城館遺跡等が有名な甲賀市ですが、2019年には、NHK連続テレビ小説「スカーレット」の舞台になり、一躍脚光を浴びました。主人公喜美子の親友の実家「丸熊陶業」がよく知っている製陶所をロケ地としていたり、火まつりのシーンは過去に私も実際に松明を持って歩いた愛宕山であったり、知人がエキストラとして出演したりと、本当に身近に感じられる番組となりました。今まで何気なく過ごしてきた自分の町を改めて見直すこともでき、大切にしていきたいと思いました。

さて、この魅力いっぱい甲賀市で行う行政相談委員の活動で一番印象に残っているのは、2020年1月に甲賀市立土山小学校と大野小学校の6年生を対象に行った行政相談出前教室です。パワーポイントを使って「行政」「行政相談」

「行政相談委員」について説明しました。こちらが一方的にしゃべるのではなく、クイズ形式で児童たちも一緒に考えて答えてもらう形で進めていったので、退屈することなく学んでもらえたように思います。5人の甲賀市行政相談委員が意気投合し力を合わせて出前教室を行うことができたおかげで、先輩行政相談委員のみなさんとの距離が近くなったように感じました。

これからも、出前教室等いろいろな方法でPR活動を行い、老若男女様々な甲賀市民に身近に感じていただける行政相談委員になれるよう日々精進していきたいと思っています。



行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例



白國 哲司
(大阪市西区)

(委員意見の要旨)

資格申請や取得の際に求められる証明写真のサイズはそれぞれ異なっているため、住民は当該申請に合わせた証明写真を用意しなければならない。例えば、マイナンバーカードやパスポートは3.5cm×4.5cm、運転免許証は2.4cm×3cmで、また履歴書用なら3cm×4cm、学校受験の願書は各学校や教育委員会によって異なるといった具合である。これは住民にとって大変煩わしく、非効率で負担も大きいものとなっているので、これら写真サイズの共通化を図ることで利便性を向上させるべきである。

検討状況等

資格申請等で求められる証明写真のサイズは、それぞれの法令等に基づき定められており、パスポートのように国際ルールの中で写真規格が定められているものもあります。また、現在、国において、申請手続のデジタル化など、利便向上に向けた取組も進められつつあります。本件の処理方針については、それらの事情等を踏まえ、本省において、引き続き検討されています。



西野 房男
(堺市北区)

(委員意見の要旨)

市区町村からの戸籍届出の受理に係る「お知らせ」文書は、法務省通達「戸籍法及び戸籍法施行規則の一部改正に伴う戸籍事務の取扱いについて」（平成20年4月7日付け法務省民一第1000号）に示された通知様式に準じて行われることとなっており、当該通知様式では「事件」等の語句が使われている。一般の国民にとって「事件」と言えば刑事事件や違法な行為が想起されてしまう。住民への「お知らせ」文書について、独自に「事件」の語句を使用しない文書に変更している市区町村もある。以上のことから、戸籍届出が受理された旨の「お知らせ」文書に係る法務省通達による通知様式を変更すべきである。

検討状況等

国民に違和感を与えたり、誤解が生じたりすることがないように、市区町村の通知様式を見直すことは一定程度理解できるところです。本件について、法務局では、内容が変わらなければ市区町村の判断により様式を変えることは差し支えないとしており、住民に配慮し、「事件」という語句を除いた様式に変更している市区町村もあります。

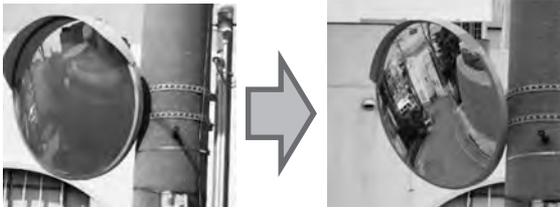
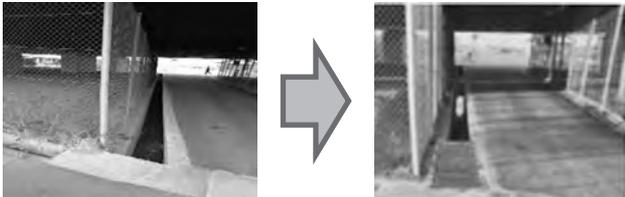
本件の処理方針については、それらの事情等を踏まえ、本省において、引き続き検討されています。

委員活動を通じて得られた意見を行政運営の改善に役立たせる貴重な手段！



令和2年度における大阪府内の委員意見の提出件数は21件でした。提出された委員意見は総務省行政評価局の幹部会で報告され、必要に応じて局所、本省の順に関係機関等に意見聴取や実態調査を行い対応方針の検討を行っています。

●委員活動報告から

相談のあらまし	措置状況	報告委員
<p>通学路にある「止まれ」の道路標示がほとんど消えており、スピードを出して坂道が上がってくる自動車が危険なので、運転者が見やすい状態に直してほしい。</p>	<p>本件は出前教室の生徒から寄せられた要望です。委員が現地写真を撮り、地元警察署に道路標示を塗り直してほしい旨伝えたとこ、約半年後に措置されました。</p> 	 <p>大草 亘 (大阪市鶴見区)</p>
<p>自宅近くの急カーブに設置されたカーブミラーが見えにくい。よく見ると鏡面が白く曇っており、晴れた日は特に見えにくいので改善してほしい。</p>	<p>相談を受けた委員が、市役所の担当部局に連絡し対応を依頼したところ、市が現地で見づらい状況を確認したため、ミラーの取換え工事が行われ、見やすく改善されました。</p> 	 <p>西野 房男 (堺市北区)</p>
<p>道路上に設置されている案内標識の地名表示(漢字)が誤っているので正しく修正してほしい。</p>	<p>相談のあった案内標識は、受け付けた委員の担当区域外であったため、担当地区の委員に連絡するとともに、近畿管区行政評価局に対応を依頼しました。提報を受けた当局は、市役所の所管部局に連絡し対応を依頼したところ、同標識を管理する環境事業組合により貼替作業が行われ、地名表示について、誤った「千早赤坂」から「千早赤阪」に訂正されました。</p> 	 <p>葛本 徹雄 (千早赤阪村)</p>
<p>西名阪自動車道の高架下の道路の幅員が狭く、脱輪事故が発生しているの、溝をふさいで道路の幅員を確保してほしい。</p>	<p>相談を受け付けた委員は、西日本高速道路(株)関西支社に赴き照会したところ、側溝は松原市が管理するものであることが判明。改めて同市に連絡したところ、側溝にふたがされました。</p> 	 <p>藤田 毅 (松原市)</p>

新任委員さん こんにちは!!

令和3年4月1日からの委嘱委員さんからのひと言

氏名（担当区域）①趣味・特技・健康法等、②好きな言葉（座右の銘）、③最近印象に残ったことなど



かがわふみこ
香川婦美子（大阪市西淀川区）

- ①書道・草花の鑑賞・ゴルフ・ウォーキング
- ②誠心誠意・一生懸命・楽しく
- ③コロナ禍の中、高齢者の方々のお互いの健康に対して、気遣いのあいさつなど優しい気持ちが、聞いていて心地良いです。早くの収束を願っています。



いりえかずひろ
入江和廣（箕面市）

- ①地域の囲碁同好会で週2回の囲碁や、現役時代の仲間とのゴルフプレイなど、楽しく過ごしています。
- ②「ぶらぶらにらしく」
偉そうにせず、へりくだることもせず自分らしく生きること。
- ③「地域の自主防災ネットワークづくり」で、多くの地域住民の皆さんと「日ごろから顔の見える関係」を作ることが、いかに重要かを痛感しています。



たなかかずみ
田中和美（大阪市住吉区）

- ①映画鑑賞・茶道・ウォーキング
本格的な登山にも挑戦してみたいです。
- ②努力に勝る天才なし
自分自身は元より、三人の息子達に努力を惜しまない人になってもらいたいと思いつけています。
- ③白血病を患い、一年の闘病の後、先日の競泳日本選手権で四冠に輝いた池江璃花子さん。「苦しくてもしんどくても努力は必ず報われる」と涙ながらに語った姿を見て勇気をいただきました。



さとみ
里見さつき（箕面市）

- ①趣味は旅行の計画を立てること。旅先への期待と当日までのワクワク感を楽しんでいます。
健康法は体を動かすこと。ジムで筋トレとヨガ、親しい仲間と卓球やおしゃべりをする事です。
- ②好きな言葉は「バランス」。何事も行き過ぎても足りなくても不十分で、いい塩梅でバランスを取る事です。
- ③介護士として担当する90代の独居女性が、健康のため散歩する姿に元気をもらい、「ありがとう」の一言で笑顔になれます。コロナ禍で不安やストレスを感じるなか、私の方が癒していただいています。



てらもとこうじ
寺本幸次（大阪市東住吉区）

- ①若い時はボーリング、今はのんびり船で海釣り。
健康法は、決まった時間に児童達と共に集団登校（みまもり隊）
- ②人にやさしく、自分にきびしく
- ③行政の委嘱状を受けた時、民生児童委員活動をいかし、地域に耳を傾け行政の活動にがんばって行きたいです。



おおにしひでのぶ
大西秀信（大東市）

- ①趣味は20年以上、野鳥の撮影をしています。週末は野山を駆け巡っています。
- ②「自然体」
色々な意味がありますが、正直で繕うことなく、飾らない自分で居たいと思っています。
- ③新型コロナウイルス感染症の暗いニュースばかりですが、ゴルフの松山選手のマスターズ優勝やMLBの大谷選手の活躍には勇気づけられます。



ひらやすたかし
平安孝至（池田市）

- ①体を動かすことが好きでサッカー、ゴルフ、ランニングを続けています。
- ②努力は必ず報われる
- ③コロナ禍の中ゴルフの松山英樹選手、大リーグの大谷翔平選手、ボクシングの井上尚弥選手など多くの日本人選手が世界で活躍していること。



きはらさちこ
原早智子（門真市）

- ①読書
ゴルフ
- ②なるようになる
- ③鴨川でオオバンが泳いでいるのを見たこと。



おおごしたけし
大越健司（枚方市）

- ①趣味＝スポーツ観戦
健康法＝ウォーキング
- ②百聞は一見に如かず
人事を尽くして天命を待つ
- ③競泳女子個人メドレー金メダリストの大橋さん＝力が入りました。



かわいまさよ
河合雅世（東大阪市）

- ①茶道です。心穏やかになれる時間が好きです。
- ②感謝の心を忘れずに
- ③今年4月より、相談委員と同時に仕事も始めました。慣れない日々ですが、頂いたご縁を大切に「何事も勉強」と頑張っています。よろしくお願ひ致します。



ふじい はじめ
藤井 一（八尾市）

- ①旅行と食べ歩きです。今は我慢することです。
- ②一日一笑
一日大笑いすることで仕事、仲間、家族等プラス思考になり、元気になります。
- ③新型コロナウイルス感染症の流行で、新しい生活様式等今までに無かった言葉を耳にし、何気ない普通がどれだけ幸せかを思い知らされました。



はなおかしげき
花岡茂樹（富田林市）

- ①ゴルフ 家庭菜園
- ②情けは人の為ならず
- ③先日、新型コロナのワクチン接種会場に行きましたところ、医師・病院・民間スタッフ・自治体職員などそれぞれ職種の違う人たちが、プレート等により所属、役割を明確にし、次への説明や案内をやさしく言葉かけをしていました。無駄口は無く、ちょっと緊張した空気の中、淡々と仕事を遂行されていて、スムーズに安心してワクチン接種を受けることができました。



しょうじつねよし
小路庸吉（太子町）

- ①脳トレを兼ねて、クロスワードパズルの雑誌を買って、仕事の待時間等にパズルを解いて楽しんでいます。
- ②太子町は聖徳太子の御廟が有るので、十七条憲法の「和を以て貴しと為す」を子供のころからよく耳にします。とても好きな言葉です。
- ③4月29日に春風亭昇太さんの独演会に行くはずでしたが、緊急事態宣言が出て中止になりました。残念です。早くコロナの終息を願ひます。



つじのこうじ
辻野耕司（堺市堺区）

- ①趣味はゴルフ・スキー・ウインドサーフィンでした。
今は、旅行で温泉に入って一杯飲むこと
- ②「人間万事塞翁が馬」
- ③コロナ禍がなかなか収まらない中、世の中のいろいろな局面においてますます二極化が進んでいるようでとても気になります。



ほし ただひろ
星 忠宏（堺市東区）

- ①近くの貸農園で無農薬野菜にチャレンジ
朝のウォーキング
- ②誠実と信頼
継続は力なり
- ③今年4月、委嘱時研修を受けましたが、新型コロナ禍により、行政相談活動は自粛が続いています。
行政相談委員としては、法律・制度について問題意識を持ち、相談者には市民感覚で真摯で迅速な対応を心掛けたいと思います。



いくらいくみ
以倉育美（堺市東区）

- ①パッチワークとテディベア製作。
娘の結婚式でウェルカムベア教室に通いはじめて8年。みなさんと楽しく作品をつくっています。
- ②「お母さんがホッとすれば子どももホッとする」
- ③コロナ禍でも孫と楽しく家でソーメン流し。仕切る孫の顔をみて元気をもらっています。



ねじかね えみこ
捻金栄美子（堺市北区）

- ①毎朝30分のウォーキングと友人との対話を心がけています。あと食べすぎない事、美味しかったと思えるところで止める様にしています。(笑)
- ②「生涯青春」年を重ねる程に、素敵な出会い、発見を大事にして過ごしていきたいと思っています。
- ③コロナ禍で、ご近所の方にもなかなか会えない中、堺市では独居の方中心に「お元気ですか」コールをしました。ワクチンの予約や誰にも会えない淋しさを訴える方がいて、電話一本で誠心誠意出かけていこうと思えます。



みつお やすお
三井保夫（泉大津市）

- ①趣味は、スポーツ観戦（特にプロ野球）です。昨年はコロナ禍の影響により試合数や観客を少なくして行なわれました。今年は楽しく観戦できる事を願っています。
- ②「段取りと気配り」
何事も段取り良く、周りに心配り目配りの出きる、思いやりのある行動を心掛けるようにしています。
- ③最近、物忘れが多く、人の名前や物の置き場所など。
人生には、忘れていい事と忘れてはいけない事があると思います。
忘れる事も大事かも。



さしま ひろし
佐嶋 博（泉大津市）

- ①西国33か所巡りや神社仏閣を弟夫婦と参拝し、その土地の美味しい物を食するのが楽しみです。趣味はスキーで、シーズン4回くらい行きます。
- ②年を重ねるにつれ、「思いやり」と「感謝」を大切にしたいと思っています。
- ③長年勤めた仕事を定年退職し、自分を育ててくれた街に少しでも恩返しをと思っていたところ、行政相談委員の依頼を受けました。「みんなが幸せになれる」ことを願いながら活動に関わっていきたくと考えています。



たかはし かおり
高橋 香（高石市）

- ①趣味は、油絵と羊毛フェルトです。健康法は、地域の子も達と接することで、子ども達からたくさんエネルギーをもらっています。
- ②真心。
いつでも、どこでも、まごごろを大切にしていきたいです。
- ③高校生の息子が、延期していた修学旅行に行くことができました。写真を見て涙がこぼれました。コロナ禍でたくさんの方に支えて頂いていることに感謝しています。



まえかわ ゆたか
前川 優（泉南市）

- ①文楽：大阪生まれの伝統芸能である文楽に魅せられ50年近くになります。国立文楽劇場のボランティア解説員です。それとボタニカルアートを始めて5年になります。
- ②木を見て森を見ず：部分に捉われて全体像を見失ってはならない。これは全てに言えることで、ときには遠くから離れて見直すと気が付くことも多いと教えられます。
- ③コロナ禍の中で人間の本性が見えてきたような気がします。自粛警察や感染者差別など、寛容とは何か不寛容とは何か、今の状況から見えてくることが多い。



きつもとまさよし
橋本正義（忠岡町）

- ①ゴルフ、音楽鑑賞、スポーツ観戦
私の健康法は年齢関係なく、色々な人達と会話する事
- ②継続は力なり！
人と人との繋がりを大切に！
- ③議員時代の経験を生かして、住民皆様のお力に成りたいと思う。委嘱を受けた時はコロナの真っ最中、負けずに頑張っていきたい。



Withコロナでの行政相談活動

令和3年度10月の行政相談週間を中心に感染防止対策を実施しながらの行政相談活動の一部をご紹介します。



高槻・島本総合相談所



寝屋川市特設相談所



泉大津市巡回相談所



門真市巡回相談所



城東区関目東地区相談会



箕面市定例相談所



忠岡町定例相談所



西淀川区定例相談所

局
とり
モ
ー
ト
通
話
中



東住吉区定例相談所



住吉区定例相談所



Zoomでのパソコン勉強会

ホ
ー
ム
ペ
ー
ジ
運
営
委
員
会
で
す



自動車教習所に設置



FMひらかたの番組出演



堺市行政相談パネル展



東大阪市行政相談パネル展



枚方市映像展示



高槻市定例相談所



大東市定例相談所



枚方市定例相談所



大阪一日合同行政相談所を大阪合同庁舎2号館で実施しました！



相談所の様子



オンライン相談体験コーナー



行政相談パネル展



忠岡町カーニバル



生野区定例相談所



高石市定例相談所



広報委員会



研修委員会



編集委員会



男女共同参画委員会



相談業務委員会



相談業務委員でオンライン体験

研修委員会

委員長 柁 亘 悟



研修委員会では、隔年で視察研修を行っているところですが、残念ながら昨年は、コロナ禍の中での視察研修を見合わせ、「新型コロナウイルス感染に伴う各種支援事業」の冊子を各委員

の皆様に配布いたしました。

本年も新型コロナウイルス感染の拡大が収まらず、感染防止のため視察研修を自粛せざるを得ない状況にあります。

研修委員会としては、国民の意識の複雑化、多様化などに応えるため、行政相談委員としての資質の一層の向上を図ることは重要であることから、全委員を対象とした社会情勢の変化、行政上の問題等を研修テーマに取り上げていきたいと考えています。

また、昨年11月にワーキングチームが立ち上げられ、ICT（情報通信技術）を利用したオンライン会議等の導入、その為のオンラインを利用できる行政相談委員を増やしていくことについての意見をうかがいました。

研修委員会ではこのため、令和3年度の事業計画は、「ICTを活用するための基礎研修」といたしました。

4月15日に研修委員会の幹事会を開催し、「Zoom」を利用した研修を行うため、オンラインでの会合について先行して取り組みを行っておられるホームページ運営委員会の委員にご支援をお願いして、「Zoom」の研修を行うための協議を進めていきたいと考えています。

また、メールによる月例報告をされる委員の割合が38.4%（令和元年ホームページ運営委員会のアンケート結果より）と少ないことから、委員の皆様へのICT環境のアンケート調査を行うことと致しました。

その結果等を踏まえ、このコロナ禍でも出来る研修会の開催方法を検討して参りたいと考えています。

編集委員会

委員長 今井 藤子



今年は行政相談委員制度60周年である。その記念すべき年が新型コロナウイルス感染症なる稀代の悪疫に見舞われ揺れ動いている。国を挙げての一大事業オリ

ンピック・パラリンピックで大いに盛り上がるところだが、開催さえ危ぶまれて困難を極めて

いる。昨年度より緊急事態宣言の発出、解除を繰り返す中、編集委員会も思うように開けず、機関紙「あし35号」は12月ぎりぎりの年内発行だった。今年こそは順調にと3月に「36号」発行に向けて第一回編集会議を開いたが、7月まで活動は休止状態で委員会の連絡は電話、メール、郵便のやり取りで凌いだ。例年表紙を飾るのは大阪を代表する「橋」であるが、今回は時世を反映した緊急事態宣言を知らせる赤い通天閣を掲げた。また相談事業や研修会が開催されない中での原稿依頼は大変心苦しいところではあったが、着々と記事が寄せられ励まされる次第になった。編集会議が開けないことで、新任の委員さんとお顔を合わせる機会なく編集作業が進み、不本意だったがあらゆる事が異例の緊急事態だったかも。

機関誌「あし」は行政相談委員制度の歴史と共に30周年（6号）、50周年（26号）を顕彰し新たに進化し続け乍ら今日の60周年を迎えている。今後とも委員相互の“憩いの広場”として、より一層身近な親しめる機関誌となるよう、研鑽を積み、皆様のご協力を仰ぎながら継続発展させていきたいと考えている。

※令和3年7月に寄稿いただきました。

相談業務委員会

委員長 足立 義昭



コロナ禍のなかの「くらしと行政なんでも相談」実施にあたり、従来の実施計画では不十分な点を挙げてみた。

まず、従来街頭での広報活動は、ソーシャルディスタンスの確保の点や広報物品の素手による手渡しも、感染対策上問題がある。マスク・フェイスガード・手袋を付けていても人は避けるであろう。

相談会場における問題点は、多数の人が会場内に長時間留まること自体による問題とともに、対面で1人1件20分の時間をかけることの問題、プライバシー保護のための隔壁パーティションが空気の流れを澀ませる問題などが考えられる。

感染力の強いデルタ株はウイルス核がエアロゾルとなり、室内に浮遊しクラスター感染をおこす可能性がある。会場入口での検温や手の消毒だけでは、クラスター感染を防ぐことはできない。

感染予防としては、会場内の空気を頻繁に外部へ排出させることや、会場内に長時間、人を滞留させないことが必要である。

時間の短縮については、相談者から相談時間が短いといった不満を招くおそれがあるが、クラスター防止のため、1時間当たりの相談件数を減らすこと、相談が終るごとに休憩時間を10分から15分とり、室内の換気の徹底を図る必要がある。

感染予防の観点から、食事の問題、スタッフ控室の問題なども考えられるが、リモート相談を取り入れることの可否も含めて、コロナ禍のなかでの今後の相談活動の在り方を検討する必要がある。

広報委員会

委員長 羽田 清彦



機関誌「あし」35号では、思いもよらぬ「新型コロナウイルス」の発生により…と、記述させて頂きました。「36号」で再び「ウイルス」

の文字で始めねばならぬ程、猛威が蔓延している国内外の状況に心痛める日々が続くのは、私だけでしょうか。

行政相談委員の皆様には、新たに総務大臣より委嘱を受けられ、任期を過ぎされていることに敬意を表するものです。

委員宛に相談課から各種の通知があり、新年度も今日迄、書類による会議での進行に複雑な思いであります。

広報委員会では、他の委員会と同様令和2年度報告と同時に、本年度も活動の方向性は変わらぬ事を了承頂いております。当委員会も局職員の異動に伴い新たに担当を頂き、引き継ぎも滞りなく、船出を致しております。行事予定、予算組みも第1回広報委員会（4/20付書面審議）にて承認を得た所です。第2回委員会（例年7月開催）より具体的な活動が行える事を念じるばかりです。何としてでも次代を担う子供達に出前教室を含め「行政相談」の存在を伝え、広報委員会活動の一助と致す思いです。

国内でのワクチン接種が始まり、更に加速され、一刻も早く平時に近い社会生活が営めるようになり、相談委員の活動再開を願うものです。

末尾になりましたが、近畿管区行政評価局長をはじめ職員の皆様には、お世話をお掛け致しますが、変わらぬご指導とご協力を改めてお願い申し上げます。

ホームページ運営委員会

奥小路 了



ホームページ運営委員会の令和3年度活動は、これまでの活動に加え

(1)ワーキングチームへの対応

(2)Zoom等オンライン活用の推進をあげました。

どちらもキーワードはオンラインです。収まることを知らない、新型コロナウイルスの影響により対面での委員会活動は自粛が続いています。このような状態でも活動できる方法のひとつとして昨年、Zoom（Web会議サービス）を導入し、運営委員会・パソコン勉強会で活用しています。今、これらの底辺を広げていきたいと考えています。それには、各委員会、支部と連携しながら進める必要があります。

ホームページ運営委員会は各支部2～3名で構成されていますので、大阪府内を網羅しています。広げる環境は整っていると思っています。

ところで、委員会ではZoomの有料アカウントを一つ保有しています。これの使用方法について、まさにいま委員会で議論をしようとしています。何らかのルール作りをします。委員会保有の財産を地相協の活動に生かされればと願うばかりです。

委員会メンバーは若いとは言えませんが、錆びない程度に情報機器の活用スキルを磨いていく所存です。そのための勉強会を地相協の皆様へメールでお声掛けします。ご参加をお待ちしています。

男女共同参画委員会

委員長 佐古田 ^{あけ} ^み 暁 實



政府は2020年12月25日、第5次男女共同参画基本法（2021年～2025年を対象期間）を閣議決定しました。

菅総理は「人口の51%占める女性があらゆる分野で活躍することが、これからの日本における経済成長に繋がる」と強調されました。

男女共同参画における身近な問題としてLGBT、夫婦別姓、女性の管理職比率などが挙げられます。

その中でも、昨年10人に1人がLGBTであるとの調査結果が出ました。心と身体が一致しないために起こる、生きづらさや苦悩、今後においてどのような社会を目指すべきか、などの意見を直接聞くため、講演会の開催をメインの企画として進めておりましたが、新型コロナウイルスの影響で見送りになりました。

今年こそコロナ禍が落ち着き次第、迅速に講演が行えるようにと考えています。

その他、男女共同参画委員会は、大丸心斎橋店で行政相談業務や近畿管内の男女共同参画委員をお招きして、各地域の活動報告や取り組みなどの意見交換を行っています。

各地域での問題は様々に異なり、参考になる事例が多く今後も継続したい取り組みの一つです。

これらの活動を通じて、皆様が男女共同参画を自分の身近な問題として考えてもらえる布石となるように、今後も取り組んでいく所存です。

※令和3年5月に寄稿いただきました。



—スマートフォン・キャッシュレス体験教室—

滝川 愛子 (大阪市平野区)

令和2年度の大阪第2支部自主研修会は令和2年6月30日(火)、大阪合同庁舎2号館7階会議室にて行いました。新型コロナウイルス感染拡大の中、感染症対策として各机1席とし窓を開けた状態での研修でした。参加者は、局の職員4名、支部会員13名の合計17名でした。

第1部はスマートフォン・キャッシュレス体験教室ということで、ソフトバンクの関西セミナー事務局より講師として坂下泰博氏他6名来られ、貸出機器1人1台実際に操作しながら体験しました。

講座1では「買う前に楽しくわかるスマートフォン教室」と題してスマホの基礎について学び、アプリの体験を中心に操作、とても親切丁寧に教えて頂きました。

講座2では「今からでも遅くないはじめてのスマホ決済」ということで、日常生活を便利にお得に快適に生活をと、スマホ決済の種類、支払い方法、不安要素と対処法、会社の選び方など指導して頂きました。慣れれば、カメラの活用などもでき、もっと楽しくなるということ。

キャッシュレス時代の到来で、スマホは持っても詳しくない私にとって、興味だけの参加でしたが、一つ知るたびに小さい達成感もあり、いつの間にかもっと上手に操作できるようになりたいと思うようになりました。

新しいことを学ぶことが億劫になっていた私ですが、今回の研修に参加して、いつまでも若さを保つ秘訣は、チャレンジ精神だという事に改めて気付かされた有意義な体験とな

りました。

第2部では例年、ローテーションで事例発表をしていましたが、今回、発表事例がないということになり、春元支部長より「発表者は申し出がなければ自ら積極的に広報を行い、事案の発掘に努めて欲しい」旨の発言があり、気持ちを引き締め日々過ごしていかなくてはと反省しました。

事例発表にかわり藤田課長より局でのコロナウイルスに関する行政相談受付状況の説明がありました。また厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリの周知とチラシを受け取り研修は終了致しました。



三輪 淳三 (大阪市中央区)



新型コロナの名前を耳にして、早や一年半が経過しようとしている。コロナ禍において、日常生活にどのような変化があっただろうか。

「衣」が変化した人、「食」

に変化があった人とそれぞれおられると思う。思いを巡らせてみると、衣食住そのものより、その周辺の事柄に種々の変化があったと思う。ただ万人に等しく変化が生じたものがあるとなれば、マスクではなかろうか。

令和2年の正月にマスクを日常的に使用しておられた方は、ほとんどおられなかったと思う。今やマスクは日常生活の必須アイテムとなり、外出時はもちろんのこと、屋内においても必要となってきた。昨年の今頃マスクは店頭で無く、インターネットでは法外な価格で販売されていた。またアベノマスクまで出現した。今やマスクはドラッグストア、ホームセンターに山積みされ、素材も不織布、ウレタン、通常の布等種々出回っている。

マスクを付けての生活は、これから暑くなる季節になると思うと、憂鬱になってしまう。しかしコロナウイルスは待ってくれない。適正なマスクの使用と早急なコロナワクチンの接種で、コロナウイルスに罹患しないように立ち向かわなくてはならない。人類は過去においてペスト、スペイン風邪などを乗り越えてきた。科学の進んだ現在、コロナを克服できないはずはない。マスクを盾に、日々冷静にコロナ禍を乗り越えていこうと思っている。

宮川 茂雄 (大阪市住吉区)



私は非常勤で福祉学部の学生を教えている。授業の中で、「衣食住」にピンとこない学生は多い。福祉の発展に伴い、「衣・食」で困る人は目立たなくなった。別の意味で「京の着倒れ、大阪の食い倒れ、江戸の呑み倒れ」もほとんど死語に近い。

「衣食住」は常に変化するもの。だからコロナで変化が早まったと解釈した方がいい。例えば、

コロナ禍で需要を押し上げたのは、ネットショッピング。家にいながら自分にフィットした衣服が簡単に注文できることはみな知っており、需要が鰻登りである。食については全国のみならず海外の食材も手軽に手に入るのは当たり前、このコロナ禍では食材だけでなく料理もネット注文すれば自転車に乗って運んでくれるようになった。毎日配達される高齢者向け介護食弁当も、今やレストランの料理に変化している。ステイホームである。

一人の学生が現在^{いま}は、「医職住」ですぞねと言う。その通りだ。わが国の医療は、世界に誇れる最高レベルであると誰もが思っていた。しかし残念ながらこの新型コロナウイルスでは最高レベルの医療を提供できていない。医療崩壊という言葉も耳慣れてきた。簡単に医療機関に通えなくなった。職については、若者の内定取り消しや有効求人倍率の低迷で、苦しんでいる人が徐々に増えており、わずかな貯えで食いつないでいる。

『生き残ることができるのは「最も強いもの」ではなく「最も賢いもの」でもない。

唯一生き残ることができるのは「変化できるもの」である。』(米経営学者メギンソン)

チャールズ・ダーウィンが唱えた進化論を思う。

高木正彬 (池田市)



70歳を超えての体力確認の為、平成29年1月から「四国八十八ヶ所歩き遍路」に挑戦した。

先達さんからは、毎日5キロを1時間のペースで歩く様にと指示があり、市内の移動は車に乗らず歩く事で何とか達成してきた。

お陰様で令和2年3月までは月1度の遍路旅ができ、88番大窪寺にて結願となり高野山お礼参りをいれて2回で終わりという時にコロナ騒動が発生、緊急事態宣言発出、歩き遍路も延期・再開時期不明、不要不急の外出自粛等のため会議・行事が全て中止、日々歩くことが無くなった。

歩き遍路再開までの脚力維持をどうするかということで思いついたのが、今まで考えもしなかった自宅から歩いて数分の猪名川河川敷・堤防の散歩であった。1日1時間5キロを目指し歩き続け、7月の大窪寺10月の高野山を何とか終えることができた。総距離1500キロ、達成感に満たされている。

昨年10月からは熊野古道歩きに挑戦、猪名川歩きも継続している。



最前列右から2番目が高木委員

村岡由美子 (枚方市)



昨年の春に、クルーズ船で新型コロナウイルス感染が出たというニュースを聞き驚きました。そして次に驚いたのは、ニュースで、<志村けんさん新型コロナウイルス感染で死去>と知りました。ドリフターズで活躍し、志村どうぶつ園という番組で園長として出演されていました。動物と触れ合う、やさしい志村けんさんにもう会えないと思うと寂しくて悲しいです。

日々の生活では、3密を避けうがいや手洗い消毒を心がけ感染予防に頑張っています。服を着るように、マスクを着けて外出しないと恐いです。去年は、マスクや消毒薬が売り切れて困りましたが、今はどこに行っても手に入り安心して生活出来ています。

ステイホームということで、食事に行ったり旅行に行くのを我慢しました。そのことで大打撃を受けておられる方々もおられ、営業不振でお店や旅館を閉めざるをえないというニュースを聞くたびに心が痛みます。早くコロナ感染症が収束し、元の生活に戻ることを願っています。

また、会社のリモートワーク、学校のリモート学習で、人との接触を控え、コミュニケーション不足の状況になることは、心の安定・社会の安寧が心配です。

お盆やお正月には帰省を我慢したり、入院している家族に面会出来なかったり、孫に会えず、テレビ電話での会話しか出来ないことで、寂しい思いをされている方もおられることでしょう。人の命は宝です。これ以上多くの人の命を奪われる事なく、感染症が収束するまで、自分の命を守りましょう。

津村 英子 (松原市)



近頃、少子高齢化の進行や人間関係の希薄化などを背景に、社会や家族の姿が大きく変化し、地域住民の抱える課題も複雑・多様化しています。加えて、昨年より、

新型コロナウイルスが世界中に拡がり、我が国においても、コロナに日常を奪われ、生活上全てに影響が及んでいます。

私は、行政相談委員を始め、民生児童委員、福祉委員などを兼任し、地域の方々と寄り添いながらそれぞれの委員活動をしています。コロナ禍で大勢集まって行う各委員活動が中止延期されるなか、時間に少しゆとりができました。このゆとりの時間で①食事、菓子作りをユーチューブで見たりして、娘と一緒に楽しみながら挑戦しています。美味しい食事や菓子に思わず舌鼓、家族の会話が弾みます。②身体機能低下しないように、厚生労働省「+10 (プラステン): 今より10分多く体を動かそう」を取り入れ、工夫して体を動かす努力をしています。③従来の声掛け訪問も、絵手紙だけでなくマスク・注意喚起チラシ等をポスティング形式でお届けしています。毎月自己流の絵手紙を、一枚一枚心を込めて170人分描いて、地域の皆様にとっても喜んでもらっています。

コロナ禍でも悪いことばかり考えず、今、自分に出来ることに挑戦してみることも大事だと考えさせられました。一日でも早くコロナが収束し従来の活動の中で、地域の皆様の相談に耳を傾けたいと思っています。

高岡 一平 (堺市美原区)



私は定年退職をしてから農業をしております。コロナ禍の中でも、空気の良い屋外での仕事ゆえ、あまり支障はありません。ただ、ボランティア活動は中止せざるを得

ません。

私も最初はマスクを付ける事に慣れず、すぐ忘れてしまったりしたのですが、今は当たり前の様に身に付けています。手洗いも以前より多くするので、回りの人達からもインフルエンザにかかったと聞いた事はありません。

体温も朝と寝る前に毎日計る様にしています。家族で誰か咳をするとコロナではと冗談を言って、すべての会話にコロナコロナと言う言葉が出ます。

去年は時々外食にも出かけましたが、今や殆んどなくテイクアウトを利用しながら家で食べております。現役で仕事をしている人や若い世代の人は別として、我々世代は外出着をあまり着ないので、新しい衣服が欲しい訳でもなく、買い物に行く必要がありません。女性の方もマスクをするので化粧品はあまりいらないと聞いております。

毎日の生活で行動範囲も狭くなり、旅行も映画も(娯楽も)なくなりさびしい限りですが、自分達の命に関わる事なので誰もが仕方ないと考えています。守らない人がいる事に胸が痛みます。小さな子供や受験を控えた子供達、皆辛抱している。もう一度深くすべての人が思い直して欲しいです。自分も含めて。

明るい未来が来るのを待ちわびていますが、今はワクチン接種の予約と戦っています。

寺本 佳世子 (大阪市東淀川区) 「東京2020オリンピック」



近代オリンピックの父と呼ばれるクーベルタンが唱えたオリンピックの精神は、「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、

友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」である。この理念は現在も変わらずに受け継がれている。

今夏開催された、東京2020オリンピックで私が一番心を動かされたのは、「スケートボード女子パーク」だ。おわん形の湾曲した複雑な滑走路を組み合わせたコースで難易度、技の成功率、スピード、オリジナリティーなどを基準として採点される。世界中から選ばれた20名の選手が出場し、金メダルを^{よそづみ}四十住さくら（日本）、銀メダルを^{ひらきこな}開心那（日本）、銅メダルはスカイ・ブラウン（英）選手が獲得した。

競技を観ていて素晴らしいと思ったのは、競技を終えた選手に対して、国やメダルに関係なく、弾けるような笑顔で、選手たちが賞賛を贈りあってきたことだ。特に、終盤に登場した日本の^{おかもとみすぐ}岡本碧優選手は、最後まで大技に挑戦したが、惜しくも成功ならず結果は4位だった。悔し涙で壁を上がってきた彼女を各国の選手が続々と近寄って抱擁。オーストラリアと米国の選手が彼女を担ぎ、肩車をし、その演技を称賛した。岡本選手は泣きながらも笑顔でガッツポーズを見せた。

最後まで果敢に大技に攻め続け、その姿勢を称えた外国人選手。この光景はまさに、クーベルタンの唱えたオリンピックの精神そのものだった。

※令和3年8月に寄稿いただきました。

市川 利通 (大阪市東住吉区)



2020年東京オリンピック・パラリンピックのネーミング通り、本来なら去年開催されていたはずであった。が、新型コロナウイルスの影響で一年の延期となり、それに伴い

出場出来なくなった選手や、代表に選ばれた選手にも様々な事情が生まれそれぞれの運命を感じさせられます。

アスリート達は「夢」「希望」を追い続けライバルと共に苦しい練習を重ね成長をして来ました。

念願のオリンピックそれも日本での開催に一喜一憂されていると思います。最近ではオリンピック開催に反対する人が現れ、参加選手にも出場辞退のコメントをネット上に掲載されている事で私は悲しい思いがしました。

競泳の池江璃花子選手は、長期にわたる白血病との闘病を経て、大会に復帰することすら遠い先とっていました。しかしオリンピックの代表の座をつかみ「奇跡」と言わしめる復活劇で感動を与えてもらいました。開催の前でも数々の感動が生まれるオリンピック。

コロナ感染が収まり開催されて様々な競技で、日本中の人々に感動と喜びを与えていただきたいと思います。

安全で確実な東京オリンピック・パラリンピックが実現し、アスリートたちが迷いなく大会の舞台に立てることをお祈りいたします。

※令和3年5月に寄稿いただきました。

岩井利春（島本町）



オリンピックのイメージは4年に一度繰り上げられる華やかなスポーツ世界の祭典であり、トップアスリートのメダル争いに各国民が一喜一憂するもので、オリンピック

は世界一を決めるスポーツのイベントではないかと思う。

第18回東京オリンピック（1964年）では、陸上競技100mのボブ・ヘイズが10秒0で優勝し400mリレーと合わせて2つの金メダルを獲得し当時はかなり話題になった。

日本人選手では当時、10秒1の日本記録保持者であった飯島秀雄（後にプロ野球に在籍）に期待がかかっていたが、ボブ・ヘイズにはかなわなかった。

当時、日本は東海道新幹線の開業・名神高速道路の開通など日本経済の凄まじい発展時期でもあった。

冬のオリンピックでは、第11回札幌大会（1972年）70mスキージャンプで日本勢（日の丸飛行隊、笠谷・金野・青地）がメダルを独占した事が印象的だった。

「オリンピック」に対し、「もう一つのオリンピック」で身体に障がいのあるアスリートが、それぞれの条件の下で競い合う「パラリンピック」だ。

どちらのオリンピックも同じくらい価値のあるものだと思う。

全世界の人が、パラリンピックもオリンピックと同じように応援してほしいものだ。

※令和3年5月に寄稿いただきました。

角 咲子（門真市）



東京五輪・パラリンピックの開催について、コロナ禍でどうなるのだろうかという5月中旬に原稿依頼を受けて、思いを巡らせてみた。本来ならば、「2020東京五輪」のは

ずだった。一昨年、東京に行った際、駅にインパクトがあるPRポスターが貼ってあったのが印象に残っている。招致に沸いた数年前“お・も・て・な・し”のシーンやら、ロゴ変更やら、競技場の製作者変更、委員長の辞任・交代劇等々、開催前に問題が生じたのかと思うほど多くの課題が露呈した。また今は、変異ウイルス感染、ワクチンの接種動向などで開催そのものが危ぶまれる状況にある。そんな中でも、日々、練習を重ねてきた多くの選手が存在する。五輪は、その選手たちが日本に集まって競い合う平和で貴重な世界的イベントであり、特別感がある。スポーツは万国共通で、言葉は通じなくても、映像を見るだけで感動を感じる。外出を控えていても放送を通じて観戦が可能だし、オンライン配信もある。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、生活様式にも様々な自粛の動きがあり、閉塞感が漂っているが、オリ・パラの観戦を通じて、世界中の多くの人々が心を揺さぶられるだろう。かなり形を変えての開催となるか想像しながら楽しみにしている。日々の感染情報に耳を傾けつつ、自身の感染予防を継続し、医療ひっ迫が収まるよう、願っている昨今である。

※令和3年5月に寄稿いただきました。

前田正道 (東大阪市)



東京パラリンピック (2021年8月24日～9月5日開催) に出場するアーチェリー選手・上山友裕さんをご存知でしょうか? 大阪府東大阪市出身 (実家は花園商店街

にある上山酒店) で、三菱電機に所属しています。前回リオパラリンピックではリカーブ7位でした。

パラリンピックの発祥はイギリスで、第2次世界大戦で負傷した兵士の社会復帰の為にリハビリテーションにスポーツを取り入れたことが発端。1948年のロンドンオリンピックでオランダから参加した車いす選出のアーチェリー大会を行ったのが始まりです。

アスリートが見せる、困難なことがあっても諦めずに限界に挑戦し続ける姿は、見る者に感動を与え、元気や勇気を生みます。「失われた機能を数えるのではなく、残された機能を最大限に活かそう」という精神です。社会のバリアに対して多くの人々がそれに気づき、それを社会の責任で解決していくという、社会を変えて行く力がパラリンピックにはあります。

上山友裕選手は、本年6月に開催された国内最高峰の大会、全日本社会人ターゲット選手権で、男性パラ選手としては史上初の決勝トーナメントに進出、惜しくも16強で敗退しましたが、パラ選手ではなく「上山友裕」を力強くアピールしました。「会場を満員にして金メダル」を目標に掲げて挑む上山選手に、コロナ禍で、その時々の状況での『満員』を期待し、地元からも熱いエールを送ります。

※令和3年6月に寄稿いただきました。

南 淳子 (岸和田市)



オリンピックと言えば、1964年 (昭和39年) の東京オリンピック (10月10日～10月24日までの15日間) を思い出します。

当時1才3ヶ月の息子の相手をしながら、テレビの中の選手の活躍に一喜一憂したことを……。

あれから57年、新型コロナウイルス禍で延期されていた東京五輪・パラリンピックが、万全を期した感染対策のもと、海外からの一般客は受け入れず、一万人余の選手やコーチ、IOC他大会関係者等の参加人数を絞って開催されるようです。

私などが到底想像出来ないような厳しい練習に日々励み、心身を鍛えてきた選手にとってその技を発表する晴れの舞台です。

同じ演技をするなら、安心安全な状態で競争させてあげたいと誰もが思うところでしょう。

近代五輪の父といわれるクーベルタン男爵は、1894年国際オリンピック委員会を組織し、1896年アテネにて第一回オリンピックを開催しました。

そして「勝利より参加することに意義がある」と述べています。

今回も世界中から多くの選手達が来日します。盛大な大会が無事滞りなく開催されますことを心から願っています。

※令和3年4月に寄稿いただきました。

○オリンピック・パラリンピック注記

特集「オリンピック・パラリンピック」の原稿は、大半がオリンピック・パラリンピックが行われる前に頂いたものであるため、実施後の状況とは多少異なっている場合があります。

ショート・ショート【ステイホームで読んだ本】

勝 泰子
(大阪市淀川区)



ノンフィクション「漂流児童」石井光太著
少年院出院者・刑務所出所者の再犯防止を目的とした中間自立支援施設『良心塾』塾長黒川洋司氏の講演で直々紹介されていました。
少年院・児童養護施設・子供食堂・発達障害・赤ちゃんポスト等の深刻な現場を取材し、読む人に解り易く書かれた本です。重い内容の中にも明るい光が垣間見えます。
我々大人が、子ども達を見守り、どの様に手を差し伸べられるか考えさせられる1冊です。

箱谷香代美
(大阪市平野区)



私は地域の小・中学校で特別支援教育サポーターをしています。
私自身、最近読んだ本と言っても浮かんできませんでした。そこで中学校の図書室に行き「このころの天気図」を借りました。この本は河合隼雄さんが毎日新聞「はないちもんめ」紙上に連載した話をまとめたもので、聞き手に対して語られているのであたかも自分に語りかけられているように感じました。
全体が短文構成で、テーマごとにまとまっているので無理なく読む事ができました。
悩みの相談の時は「ただただ真剣に聞く」「中心をはずさず ずっとそばにいる」この事を忘れずに心の中に持ちたいと思いました。

原 さつき
(吹田市)



「歎異抄」を読んで
日常が大きく変わる中、心の平安を得ようと何度も手に取りました。歴史をみても、繰り返される災難を、人は智慧をもって乗り越えてきました。他者を思いやり、自己を制す人間力に尽きるのだと思います。時代を越えて読み継がれている偉人の言葉には心を打たれます。静かに過ごす中で、自分を見つめ直すよい機会になりました。「善人なほもって往生をとぐ、いはんや悪人をや。」

川西 勝久
(四條畷市)



「諸葛孔明」狩野直禎著
私は結構読書好きで、一日として本を読まない日はありません。書斎に入ると心が安らぎ落ち着けます。書斎では古典関連の書物を読む事が多いのですが、行儀が悪いかもしれませんが、布団に入れば横になり時代小説など文庫本を読むのも楽しみの一つです。そんな中、コロナ禍で読んだ一冊は中国英雄伝、上記であります。諸葛孔明と劉備、劉禪との関係は出師表や三顧の礼、水魚の交わり等からその深さが読み取れます。

高萩 佳由
(柏原市)



「平成の大峯山」平田蘭酔著
大峰山先達、法螺（貝）の研究家でも有り仕事を介した知人でもある先生よりご恵送戴きました。約40年にも及ぶ厳しい修行さえも愉しまれ、その中で出会われた多くの盟友も編集に協力された自費出版です。
修験者としての追憶の著で有り、此迄の研究の集大成でも有る著書から、奥深い知識と教養、真摯に研究に対峙される姿勢が伝わり、改めて敬意を表した1冊です。

辻野 収
(和泉市)



10年に一冊の生き方本「100年時代の人生戦略『ライフシフト』」というタイトルに惹かれ手にとりました。
今の80歳は、20年前の80歳より健康です。日本の長寿化は2050年迄に100歳以上人口が100万人を突破するといわれています。長寿が厄災ではなく、恩恵として最大限浴する為には過去のロールモデルにとらわれる事なく、100年ライフに適した人生設計をしなければなりません。この本はその為の参考になるのでは……。

私の住む町

MY TOWN 熊取町



私が生まれ育った町は、大阪の南部、泉南地域に位置しています。大阪湾から和泉山脈に向かって木の葉(ハート)型の形状をしていて、泉佐野市と貝塚市に囲まれた小さな町です。

熊取町は、町村制が施行された明治22年に熊取村として発足し、昭和26年に熊取町に昇格して現在に至っています。この間全国的には幾度もの大合併が行われ多くの都市が誕生しました。熊取町においても度々協議が重ねられましたが、一度も合併が成立することなく、今も「熊取町」のまま存在することを誇りに思っています。

熊取という名が文献資料にみえる最初は日本後紀で熊取野という名前で登場します。地名の由来は、古くから伝説の中で色々伝えられていますが、自然の地形・地勢からきたようです。周囲を山地、丘陵でクマドリされた谷、あるいは盆地地形から名づけられたのではないかとされています。残念ながら「熊」が捕れたからではないようです。

現在の熊取町は、人口約四万三千人、大阪府下では最も人口の多い町で、全国レベルでもベストテン入りしているベッドタウンです。また、大学が3校と大学の研究施設が1か所あり、JR熊取駅の朝夕は学生であふれている学園文化都市でもあります。

そんな熊取町も私が生まれたころは、人口1万人程度の自然豊かなまちで、殆どの道路が地道(舗装されていない道路)、熊取町全体で信号機が一基、当然のことながら道路は今で言う歩行者天国のようで、牛や馬も我が物顔で歩いています。

昔話では、「おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川で洗濯…」といった話があります

坂上 欽也

が、当時はその通りの生活をしていたように記憶しています。子どもにとって家の外はすべて遊び場で、特に山や川、ため池では毎日のように虫や魚を捕まえて遊んでいました。

最近、山やため池、田畑が住宅開発により減少したことで、川の水が少なくなり、川魚はほとんど見かけなくなってしまったのは少し残念です。

この原稿執筆の依頼を受け、思い出の残る川に足を運んでみると、魚はいませんでした。洗濯場の跡(写真)が残っていてなんだか少し温かい気持ちになることができました。

熊取町を含む泉州地域は、大阪湾と和泉山脈に挟まれた地形で、谷をせき止めて作られた「ため池」が沢山あります。産業は農業が中心であったことと、比較的雨が少ない地域であったことから、古くからため池が沢山築かれたそうです。今ではため池は灌漑用だけではなく治水に大きく貢献しています。

地球温暖化に伴う異常気象が世界各地で問題になっています。大雨による災害もその一つで、土砂崩れや河川の決壊など、大きな被害が日本各地で起こっています。災害に強い町にするためにも残された自然、山やため池は、大切に保存管理をしていってほしいものです。



私の住む町

MY TOWN 大阪市港区



家から大阪港が近いので、時々1時間程度歩くようにしている。晴れた日には海の向こうに六甲山系がくっきり見え、飽きる事がない。海の向こうに沈む夕日はあまりにも

見事で、感動を覚える。

海遊館、10万トン級の豪華客船も停泊出来るターミナル、鳥羽伏見の戦いで敗れた幕府軍が軍艦に乗り敗走した場所、天保山公園がある。

大阪メトロ中央線「朝潮橋駅」で降りると八幡屋公園がある。芝生広場を中心とし、中央体育館・プール・スケート場・テニスコート等の施設・ウォーキングコースもあり、区民の憩いの場所でもある。冬には水仙、春になると桜、6月には紫の花が美しいジャガランダが見頃だ。南アフリカのジャガランダ並木 アルゼンチン・ブエノスアイレスのジャガランダの公園に比べると本数も少なく木も小さいが、徐々に植林され木も大きく育っていくのが随分楽しみである。

公園の中にある丘の頂上に登ると、8万2千人が生活する港区が一望できる。人口減少・少子高齢化が進んでいる区でもある。

7月になると、区内4つの神社で順番にお祭りがある。こども神輿・傘踊り・獅子舞・ピーチャラピーチャラと大変賑やかなものである。残念ながら昨年度はコロナの為、全て中止になってしまった。

11小学校区の中にある連合町会その他各種団体等も、まだ生き残っている。古き良き時代の港区民スポーツ大会での、各連合町会が1-2位

石川 忠 秀

を競って対抗した時代が懐かしく思い出される。私達家族も、人情味溢れる地域の恩恵をたっぷり受けて育ってきた。今では地域活動協議会が立ち上がり、各種団体のまとめ役として活動している。若い世代が中心となり、持続可能なまちづくりにむかって進んでいる。

朝潮橋駅から東へ1駅行くと「弁天町駅」がある。その周辺には3棟の高層ビルが立ち並んでいる。28年前、弁天町駅再開発事業として「大阪の副都心へ」とまで言われたこの地は、今は少し寂しいものだが、4年後の大阪・関西万博に向かって元気になっていくのが楽しみだ。

最後に、港区役所の近くの磯路地区に500mもある桜並木通りがあり、春になると多くの区民がその見事な桜を楽しんでいる。

戦災と度重なる台風による風水害により、壊滅的な大災害に見舞われた港区は、全面盛土による区画整理事業により甦ってきた。港区の変化とともに、愉快で夢のある人生を歩みたいと思う今日この頃だ。





少彦名（すくなひこな）神社と疫病

編集委員 楠 好子

薬の歴史や道修町の歴史などが紹介されているそうです。現在コロナ禍のため、見学はできませんでした。

疫病の歴史

日本人は昔から、天然痘や赤痢など様々な疫病と闘ってきました。

崇神（すじん）天皇（第10代天皇）の時代、国内に疫病が蔓延し、民の半数が犠牲になったとされています。奈良時代には、藤原氏の繁栄の基礎を固めた藤原不比等の息子たちが、疱瘡（天然痘）とみられる病で死亡したり、平安・鎌倉時代には、疫病や災害で70回以上も元号が改められたりと、疫病は時には歴史をも変えるほどの、大きな影響を及ぼしてきました。鎖国が行われた江戸時代にも、長崎からコレラやインフルエンザの感染が、約100年前にはスペイン風邪で大勢の人が亡くなったといわれています。2009年の新型インフルエンザの流行も記憶に新しいところです。そして今回の新型コロナウイルス。感染力が強い、インド型変異ウイルス（デルタ株）の広がりが懸念されています。

おわりに

様々な活動の中止を余儀なくされ、日常生活においても、人とのかかわりさえもためらってしまう日々が続いています。

情報が氾濫する現代において、正しい情報のもと、この環境の中で何が出来るか、今だからできることは何か、注意と警戒を怠らずに、冷静な行動で乗り切りたいものです。



はじめに

昨年より、新型コロナウイルス感染症が世界中に感染拡大し、大阪では、緊急事態宣言は解除されたものの、以前の日常に戻るのには、いつになるのでしょうか。

そんなコロナ禍の収束を願い、参拝者が増えたといわれている神社の一つを訪ねました。

少彦名神社

「くすりの町」として有名な、道修町のビルの谷間に鎮座し、健康・薬の神として知られている神社です。日本の薬祖神である少彦名命と、中国医薬の祖神、神農炎帝をお祀りしており、地元では親しみを込めて「神農さん」とも呼ばれています。

コロナ以前は、自分・家族・友人などの病氣治癒を祈願する人がほとんどでしたが、コロナ以降は、コロナ終息を願って参拝する人が増えたそうです。そこで神社では、疫病退散と書かれた黄色の「祈願布」を用意して、その布に参拝者は願い事を書き、御神木の周囲に結びつけています。

また、参道横にある社務所の3階には、「くすり資料館」があり、薬関係の古文書の展示、



編 集 後 記

昨年度から今年度、編集後記を書いている現在まで、すべての日常生活がコロナに覆いつくされた毎日でした。繰り返し発出・継続される緊急事態宣言のなか委員活動も制限され、編集委員会も7月以降10月まで開催することができず、昨年度より厳しい日程の中での編集作業になりました。(通常は9月発刊ですが、昨年35号も遅れて12月発刊)

あし36号は、後々コロナが吹き荒れた時代の〈証言者〉となるよう、表紙には通常は大阪府下各地域の橋の写真を載せるところ、コロナ警戒の赤色にライトアップされた通天閣の写真を掲載し、一目で他の号とは異なるように工夫しました。

特集も、「コロナで変わった衣食住」、ショートショートは「ステイホームで読んだ本」、大阪あれこれは、疫病退散を祈願した「少彦名神社」など、主にコロナの時代の証言を記録する内容としました。

今年度は、編集委員も半数(6人)が入り替わり、新しい声も反映させながらの作業となりました。

コロナ禍で大変な中、原稿依頼に快く応じてくださった委員の皆様、そして編集委員の無理難題を嫌な顔一つせず受け止めてくださった局担当の吉留様、本当にありがとうございました。
(松浦隆行記)

編集委員会コーナー

☆あし編集委員名簿☆

- 藤岡 晴美 (大阪第1)
- 松浦 隆行 (") 副委員長
- 藤本 道昭 (大阪第2) 副委員長
- 西村 譲治 (")
- 原 さつき (北 摂)
- 加島 早織 (")
- 楠 好子 (河内第1)
- 角 咲子 (")
- 阿部多美江 (河内第2)
- 村井みさ子 (")
- 今井 藤子 (泉 州) 委員長
- 辻野 収 (")

大阪行政相談委員協議会機関誌

「あし」 第36号

発行日… 令和3年12月1日

発行所… 大阪行政相談委員協議会
大阪市中央区大手前4-1-67
大阪合同庁舎第2号館
近畿管区行政評価局
総務行政相談部行政相談課内
電話(06)6941-8358(直)
FAX(06)6941-8988

URL <http://osaka-gyouseisoudan.org>



困ったら一人で悩まず

行政相談



令和3年 行政相談委員制度は60周年



Hello Kitty
© 2021 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. L1629080

行政相談マスコット
キクーン

社会福祉 医療保険や年金 道路や公共施設 役所の手続き のことなど、お気軽にどうぞ。

ご相談は、お近くの行政相談委員へ。または、下記の番号まで。

総務省行政相談センター

お こま り なら まる まる くじょー ひゃくとおばん

まぐみみ 0570-090110

インターネットでの相談受付もOK ▶ 行政相談受付



相談無料・秘密厳守



総務省・各府省行政苦情相談連絡協議会